

平成塾通信講座 2011年

第6回

---

# 大腸疾患 I

● 編 著 ●

昭薬同窓会

内田 智信



CPC認定昭薬同窓会平成塾

## 巻 頭 言

今回のテキストでは腸疾患のうち炎症性腸疾患を扱う。炎症性腸疾患とは、腸が炎症を起こし、腹部の激しい痛みと下痢を繰り返し起こす状態である。

炎症性腸疾患には2種類の主な疾患、潰瘍性大腸炎とクローン病がある。この2つの疾患には多くの共通点があり、ときに判別が難しいことがある。しかし2つの疾患にはいくつかの違いがある。たとえばクローン病は消化管のほとんどすべての部分に起こりうるのに対し、潰瘍性大腸炎は大腸にしか起こらない。この2種類の腸疾患の原因はわかってはいない。

近年、患者数は急激に増加しており今後も増え続けると思われる。新しい治療方法も行われてきているので、従来の治療とはだいぶ異なってきた。

2011年10月15日

内田 智信

## 目 次

I. 小腸・大腸の構造と機能	
1. 小腸の構造と機能 .....	3
2. 大腸の構造と機能 .....	4
II. 炎症性腸疾患	
1. 炎症性腸疾患 .....	5
2. 薬剤性腸炎 .....	5
III. 潰瘍性大腸炎 .....	9
IV. クローン病 .....	17
V. 顆粒球吸着療法とは .....	25
VI. 抗TNF $\alpha$ 療法とは .....	28
VII. 医薬品情報 .....	30
VIII. 自己査定 .....	74
IX. 参考文献 .....	76

## IX. 索引

### あ行

アサコール錠	44
アドソルビン原末	59
イムラン錠	49
エレンタール	71
エレンタールP	72
塩酸バンコマイシン散	42
オディ括約筋	3

### か行

偽膜性大腸炎	6
菌交代現象	6
クレブシエラ・オキシトカ	6
クロストリジウム・ディフィシル	6
肛門括約筋	5

### さ行

サラゾピリン錠	34
サンディミュン	51
敷石像	19
次硝酸ビスマス	61
縦走潰瘍	19
水溶性プレドニン注	36

### た行

タンナルビン	60
腸内細菌叢	5
ツインライン	73

## な行

ネオーラル	51
-------	----

## は行

ビオスリー	62
ビオフェルミンR	64
ビオフェルミン配合散	65
ヒュミラ注	47
フラジール内服錠	41
プレドネマ注腸	33
プレドニン錠	35
プレドニン注	36
プログラフカプセル	53, 55
ペントサ錠	30
ペントサ注腸	32

## ま行

ミヤBM	63
メサラジン錠	43

## ら行

ラックビー微粒N	69
ラックビーR散	70
リンデロン注	38
リンデロン坐剤	40
レベニン散	66
レベニンカプセル	67
レベニンS散	68
レミケード注	45
ロイケリン散	57
ロペミン	58